

# 2024年3月期 第1四半期決算 連結業績概要

2023年8月3日

太陽誘電株式会社  
経営企画本部長  
福田 智光

## 決算サマリー

### **2024年3月期第1四半期 業績概要**

- 売上高は前四半期とほぼ同水準の726億円。
- 中国系スマートフォン向けの売上は増加したが、情報インフラ・産業機器は在庫調整が継続。
- 営業損失は6億円で、前四半期から35億円縮小。操業度効果が寄与した。

### **2024年3月期 業績予想**

- 期初に発表した業績予想から変更なし。
- 売上高3,220億円（前期比1%増）、営業利益150億円（同53%減）を計画。

### **2024年3月期第1四半期 業績概要**

売上高は前期第4四半期並みの726億円となりました。  
前四半期まで調整が続いた中国系スマートフォンは、  
在庫適正化によって売上が増加しました。  
一方で、情報インフラ・産業機器は在庫調整が続いています。

営業損失は前四半期から35億円縮小し、6億円となりました。  
棚卸資産の減少が小規模だったことに加え、  
通信機器向けの需要回復に伴う販売数量増加による  
操業度効果が損失の縮小に寄与しました。

### **2024年3月期 業績予想**

期初に発表した業績予想からの変更はありません。  
売上高は前期から1%増の3,220億円を、  
営業利益は前期比53%減の150億円を計画しています。

## 連結業績概要(前四半期比)

| 百万円                 | 2023年3月期<br>第4四半期                |        | 2024年3月期<br>第1四半期 |        | 増減      |       |
|---------------------|----------------------------------|--------|-------------------|--------|---------|-------|
| 売上高                 | 72,458                           | 100.0% | 72,612            | 100.0% | 154     | 0.2%  |
| 営業利益                | △4,100                           | △5.7%  | △577              | △0.8%  | 3,522   | —     |
| 経常利益                | △3,299                           | △4.6%  | 1,159             | 1.6%   | 4,458   | —     |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益 | △3,636                           | △5.0%  | 903               | 1.2%   | 4,539   | —     |
| 対米ドル期中平均レート         | 132.75円                          |        | 134.93円           |        | 2.18円円安 |       |
| 為替変動による影響額          | 売上高 +7億円、営業利益 +7億円 ※米ドル以外の通貨影響含む |        |                   |        |         |       |
| 研究開発費               | 3,165                            |        | 3,169             |        | 4       | 0.1%  |
| 設備投資額               | 14,385                           |        | 25,968            |        | 11,582  | 80.5% |
| 減価償却費               | 9,489                            |        | 8,850             |        | △638    | △6.7% |

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

3

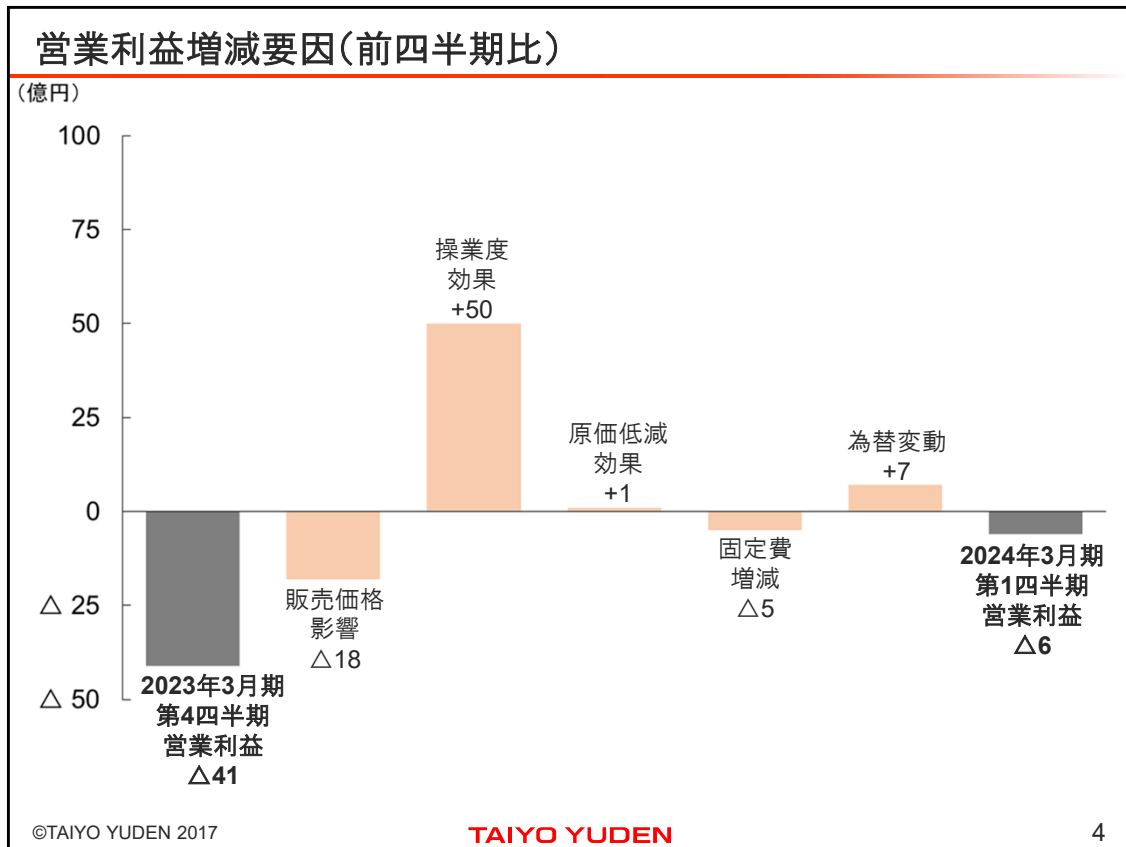
2024年3月期第1四半期の業績は

売上高726億円、営業損失6億円となりました。

期末の為替レートが1米ドル144円台の円安となったため、  
営業外収益として19億円の為替差益が発生し、経常利益は12億円でした。  
親会社株主に帰属する当期純利益は9億円となりました。

期中平均の為替レートは1米ドル134円台で、  
前四半期に対して2円円安でした。  
これにより、売上高、営業利益ともにプラス7億円の影響がありました。  
アジア通貨安により、営業利益への影響がやや大きく出ました。

研究開発費は前四半期とほぼ同額の32億円でした。  
設備投資額は、中国のMLCC新工場が完成したため、  
前四半期から116億円増加し、260億円となりました。  
減価償却費は89億円で、前四半期に対して6億円減少しました。



営業損失が縮小した主な要因は、操業度効果です。  
操業度効果には、販売数量増減や棚卸資産の増減のほか、ミックス改善の影響などが含まれています。  
第1四半期は、前期まで調整が続いていた中国系スマートフォンの在庫適正化に伴う販売数量の増加や、当社の棚卸資産の減少が前期第4四半期より小規模だったことにより、50億円の増益要因となりました。  
なお、6月末の全社の棚卸資産は、為替や利益に影響がない部分を除いた実態ベースで前期3月末より15億円減少しました。

この他、円安による為替影響7億円、原価低減効果1億円も増益要因となりました。

18億円の販売価格影響や固定費5億円の増加という減益要因もありましたが、営業損失は前四半期から35億円縮小しました。

## 製品別売上高(前四半期比)

| 百万円    | 2023年3月期<br>第4四半期 |        | 2024年3月期<br>第1四半期 |        | 増減   |       |
|--------|-------------------|--------|-------------------|--------|------|-------|
| コンデンサ  | 47,225            | 65.2%  | 47,133            | 64.9%  | △91  | △0.2% |
| インダクタ  | 10,748            | 14.8%  | 10,976            | 15.1%  | 228  | 2.1%  |
| 複合デバイス | 7,786             | 10.7%  | 8,182             | 11.3%  | 396  | 5.1%  |
| その他    | 6,697             | 9.2%   | 6,320             | 8.7%   | △377 | △5.6% |
| 合計     | 72,458            | 100.0% | 72,612            | 100.0% | 154  | 0.2%  |

## 製品別売上高(前四半期比)

(億円)



- コンデンサ** (前四半期比△0.2%)  
 自動車向け、情報インフラ・産業機器向けが減少。  
 一方、スマートフォンなどの通信機器向けは増加。
- インダクタ** (前四半期比+2.1%)  
 民生機器向け、情報機器向けが増加。
- 複合デバイス** (前四半期比+5.1%)  
 スマートフォン向けの通信デバイス(FBAR/SAW)が増加、各種モジュールは減少。
- その他** (前四半期比△5.6%)  
 自動車向けのアルミニウム電解コンデンサが減少。

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

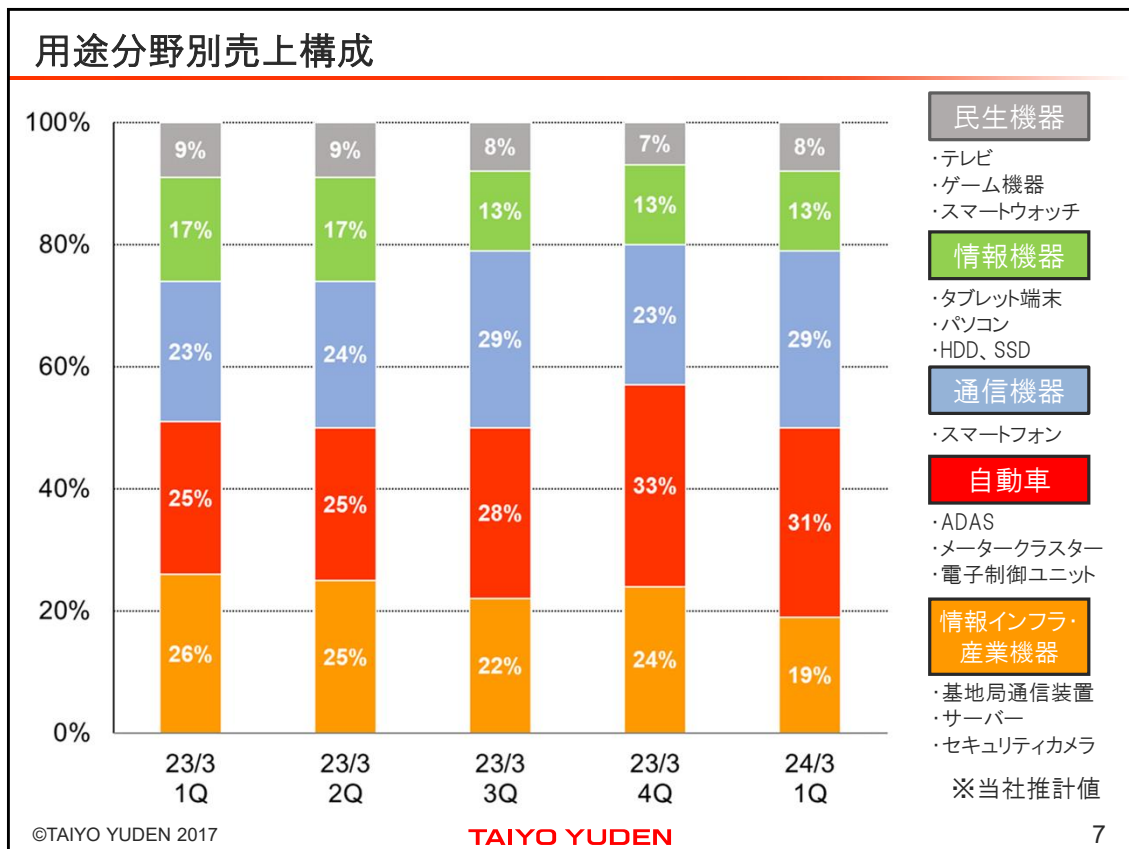
6

コンデンサの売上高は、前四半期とほぼ同額の471億円でした。  
 スマートフォンなどの通信機器向けが増加しましたが、  
 自動車向け、サーバーや基地局通信装置などの  
 情報インフラ・産業機器向けが減少しました。

インダクタの売上高は前四半期から2%増加し、110億円となりました。  
 スマートフォンなどの通信機器向けや  
 情報インフラ・産業機器向けは減少しましたが、  
 ワイヤレスイヤホンやスマートウォッチなどの民生機器向け、  
 ノートPCなどの情報機器向けが増加しました。

複合デバイスの売上高は、前四半期比5%増の82億円でした。  
 事業の選択と集中を進めている各種モジュールは減少しましたが、  
 中国系スマートフォン向けの売上が増えたため、  
 通信デバイス(FBAR/SAW)が増加しました。  
 なお、複合デバイスの売上に占める通信デバイスの割合は約75%でした。

その他は、子会社であるエルナーの自動車向けアルミニウム電解コンデンサが  
 減少した影響で、前四半期比6%減の63億円となりました。



中国系スマートフォン向けの売上が増加したことにより、通信機器向けは前四半期から6ポイント上昇し、29%となりました。

一方、情報インフラ・産業機器向けは在庫調整の影響により、構成比は19%と前四半期から5ポイント減少しました。

自動車向けは前四半期から2ポイント減少し、31%となりました。

また、ノートPCやタブレット端末などの情報機器向けは13%、スマートウォッチやゲームなどの民生機器向けは8%となり、売上構成比に大きな変化はありませんでした。

# 2024年3月期 連結業績予想



## 2024年3月期 連結業績予想

| 百万円                 | 2023年3月期 |        | 2024年3月期<br>予想 |        | 増減      |        |
|---------------------|----------|--------|----------------|--------|---------|--------|
| 売上高                 | 319,504  | 100.0% | 322,000        | 100.0% | 2,496   | 0.8%   |
| 営業利益                | 31,980   | 10.0%  | 15,000         | 4.7%   | △16,980 | △53.1% |
| 経常利益                | 34,832   | 10.9%  | 14,000         | 4.3%   | △20,832 | △59.8% |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益 | 23,216   | 7.3%   | 8,000          | 2.5%   | △15,216 | △65.5% |
| 対米ドル期中平均レート         | 134.20円  |        | 130.00円        |        | 4.20円円高 |        |
| 研究開発費               | 12,678   |        | 13,000         |        | 322     | 2.5%   |
| 設備投資額               | 50,489   |        | 90,000         |        | 39,511  | 78.3%  |
| 減価償却費               | 34,903   |        | 40,000         |        | 5,097   | 14.6%  |

業績予想は、5月に発表したものから変更ありません。

## 第2四半期 製品別売上高予想

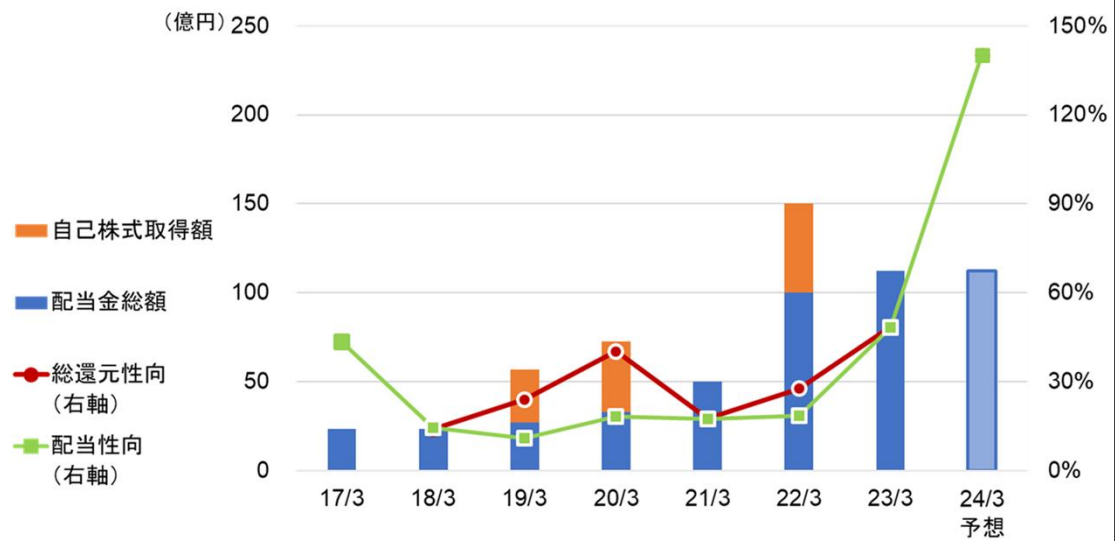
| 百万円         | 2024年3月期<br>第1四半期 | 2024年3月期<br>第2四半期予想<br>(前四半期比増減) |
|-------------|-------------------|----------------------------------|
| コンデンサ       | 47,133            | +6~10%                           |
| インダクタ       | 10,976            | +34~38%                          |
| 複合デバイス      | 8,182             | ±2%                              |
| その他         | 6,320             | ±2%                              |
| 合計          | 72,612            | +9~13%                           |
| 対米ドル期中平均レート | 134.93円           | (前提) 140.00円                     |

まず、各市場の需要動向ですが、  
 第2四半期から北米スマートフォン向けの需要が季節的に高まると見込まれます。  
 また、第1四半期に伸び悩んだ自動車向けについても、  
 第2四半期以降の需要は拡大基調に戻ると予想します。  
 一方、情報機器、情報インフラ・産業機器市場で発生している  
 電子部品の在庫調整は継続し、  
 需要の回復は第3四半期以降になると考えています。

第2四半期の製品別売上高予想は、この表の通りです。  
 前四半期比でコンデンサはプラス6-10%、  
 インダクタはプラス34-38%、  
 複合デバイスとその他は前四半期とほぼ同水準と予想しています。  
 全社合計では、9-13%の増収となる想定です。  
 なお、為替レートは1米ドル140円の前提です。

引き続き、各機器の需要動向や金融資本市場の変動を注視して  
 変化に対応していくとともに、中期的な需要拡大を見据えた準備を  
 進めてまいります。

## 株主還元



安定的な配当性向30%の実現を目指す

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

11

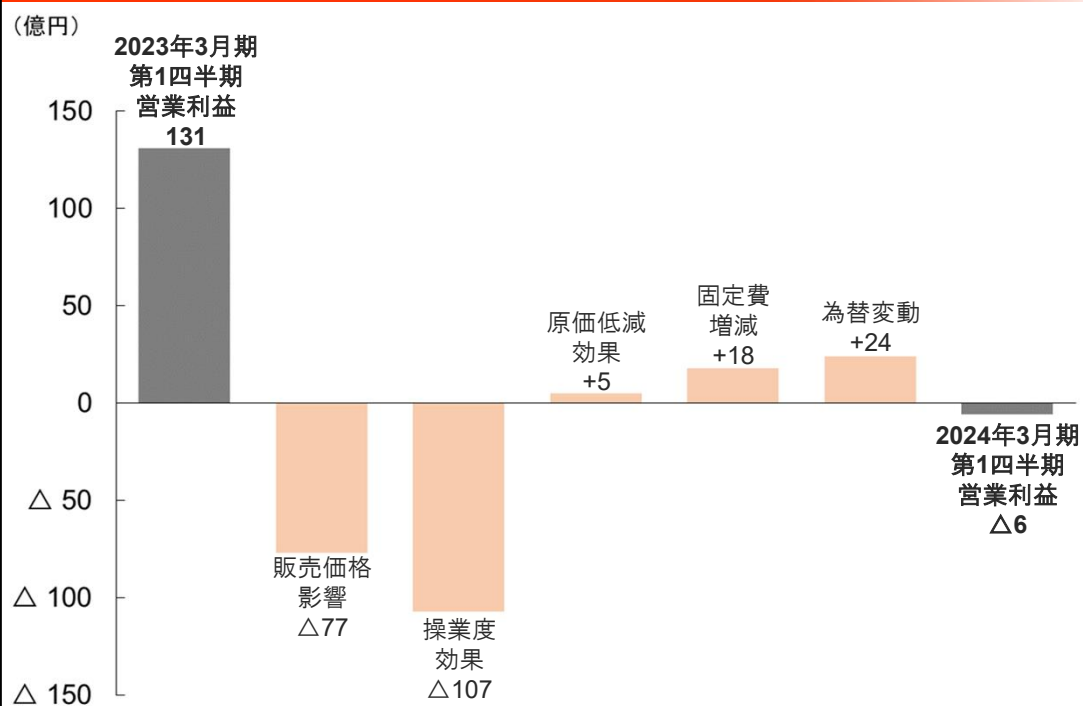
今期は前期同様、中間配当45円、期末配当45円の年間配当90円を予定しています。

## 補足資料

## 連結業績概要(前年同期比)

| 百万円                 | 2023年3月期<br>第1四半期                  |        | 2024年3月期<br>第1四半期 |        | 増減       |        |
|---------------------|------------------------------------|--------|-------------------|--------|----------|--------|
| 売上高                 | 81,740                             | 100.0% | 72,612            | 100.0% | △9,127   | △11.2% |
| 営業利益                | 13,142                             | 16.1%  | △577              | △0.8%  | △13,720  | —      |
| 経常利益                | 17,204                             | 21.0%  | 1,159             | 1.6%   | △16,044  | △93.3% |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益 | 12,236                             | 15.0%  | 903               | 1.2%   | △11,333  | △92.6% |
| 対米ドル期中平均レート         | 124.45円                            |        | 134.93円           |        | 10.48円円安 |        |
| 為替変動による影響額          | 売上高 +34億円、営業利益 +24億円 ※米ドル以外の通貨影響含む |        |                   |        |          |        |
| 研究開発費               | 3,112                              |        | 3,169             |        | 57       | 1.8%   |
| 設備投資額               | 9,763                              |        | 25,968            |        | 16,204   | 166.0% |
| 減価償却費               | 7,856                              |        | 8,850             |        | 994      | 12.7%  |

## 營業利益増減要因(前年同期比)

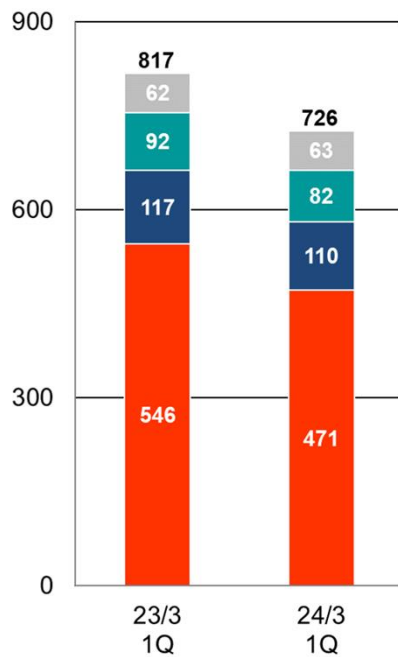


## 製品別売上高(前年同期比)

| 百万円    | 2023年3月期<br>第1四半期 |        | 2024年3月期<br>第1四半期 |        | 増減     |        |
|--------|-------------------|--------|-------------------|--------|--------|--------|
| コンデンサ  | 54,583            | 66.8%  | 47,133            | 64.9%  | △7,449 | △13.6% |
| インダクタ  | 11,748            | 14.4%  | 10,976            | 15.1%  | △772   | △6.6%  |
| 複合デバイス | 9,159             | 11.2%  | 8,182             | 11.3%  | △976   | △10.7% |
| その他    | 6,248             | 7.6%   | 6,320             | 8.7%   | 71     | 1.1%   |
| 合計     | 81,740            | 100.0% | 72,612            | 100.0% | △9,127 | △11.2% |

## 製品別売上高(前年同期比)

(億円)



### ■ コンデンサ (前年同期比△13.6%)

通信機器向け、自動車向けの売上が増加したが、その他の用途分野が減少。

### ■ インダクタ (前年同期比△6.6%)

通信機器向け、自動車向けが増加したものの、民生機器向け、情報インフラ・産業機器向けが減少。

### ■ 複合デバイス (前年同期比△10.7%)

スマートフォン向けの通信デバイス(FBAR/SAW)が増加、各種モジュールは減少。

### ■ その他 (前年同期比+1.1%)

自動車向けアルミニウム電解コンデンサが増加。

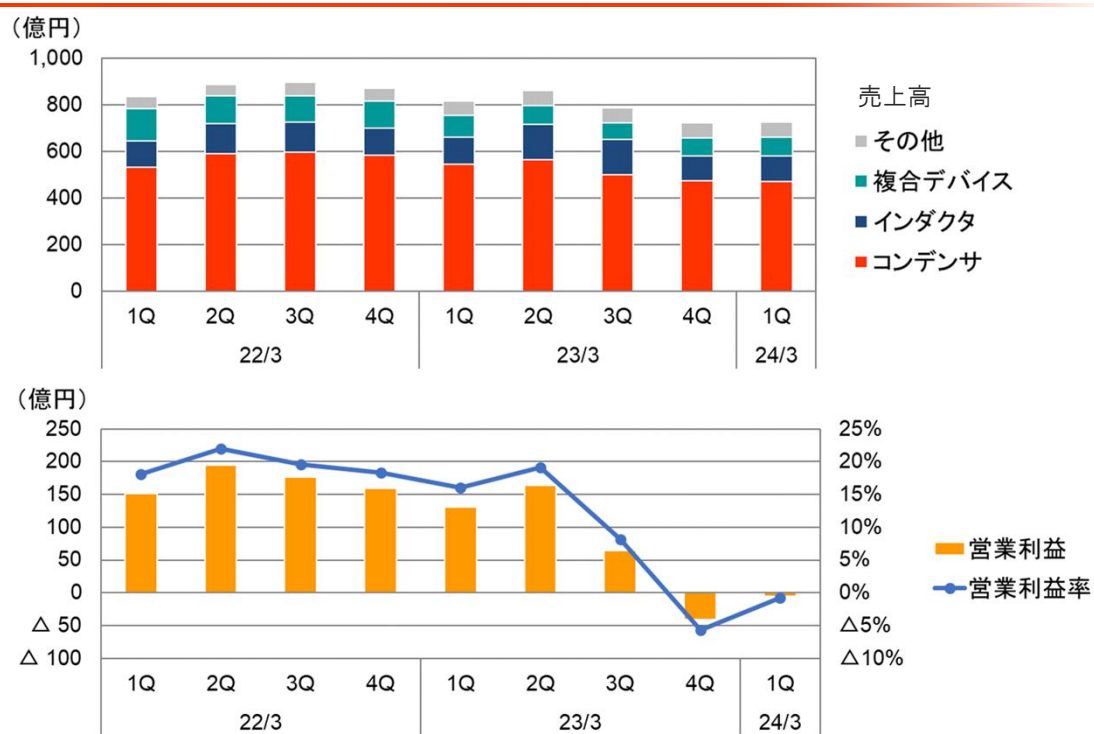
■ コンデンサ ■ インダクタ ■ 複合デバイス ■ その他



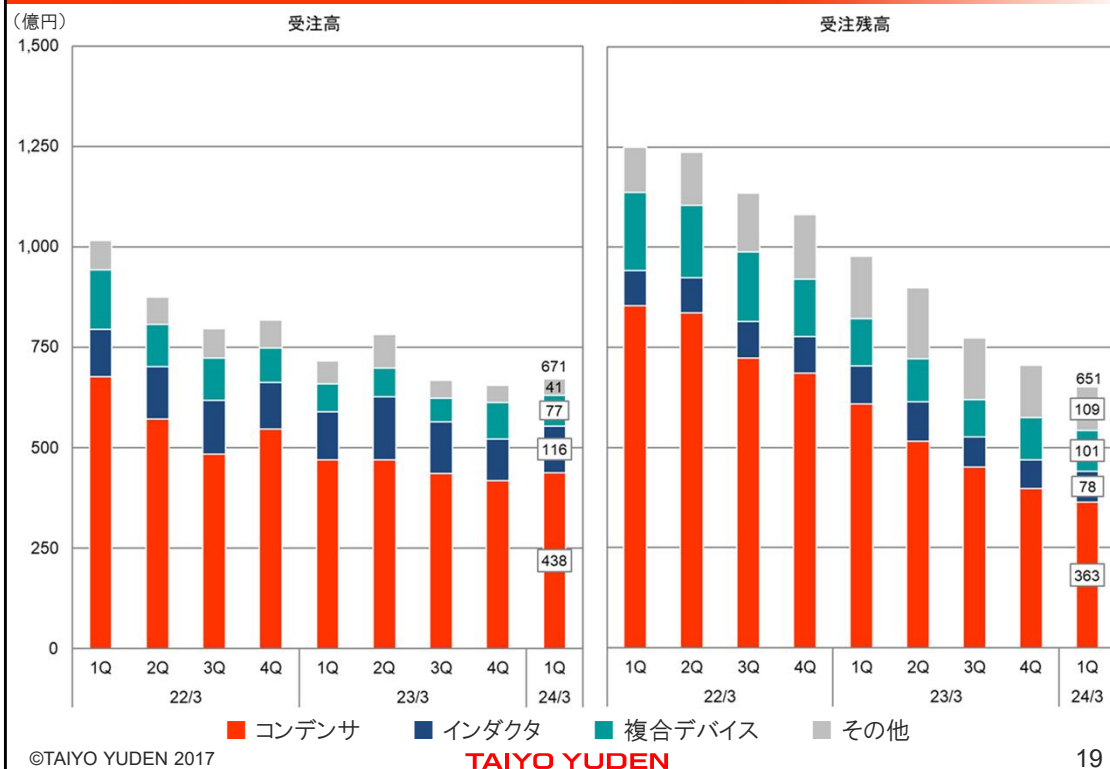
## 連結業績推移(四半期)

| 百万円                 | 2022年3月期 |         |         |         | 2023年3月期 |         |         |         | 2024年<br>3月期 |
|---------------------|----------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|--------------|
|                     | 1Q       | 2Q      | 3Q      | 4Q      | 1Q       | 2Q      | 3Q      | 4Q      | 1Q           |
| 売上高                 | 83,836   | 88,833  | 89,840  | 87,125  | 81,740   | 86,272  | 79,032  | 72,458  | 72,612       |
| コンデンサ               | 53,209   | 59,035  | 59,787  | 58,352  | 54,583   | 56,438  | 49,867  | 47,225  | 47,133       |
| インダクタ               | 11,386   | 12,863  | 12,957  | 11,717  | 11,748   | 15,156  | 15,212  | 10,748  | 10,976       |
| 複合デバイス              | 13,977   | 11,959  | 11,351  | 11,510  | 9,159    | 8,276   | 7,358   | 7,786   | 8,182        |
| その他                 | 5,263    | 4,975   | 5,743   | 5,545   | 6,248    | 6,400   | 6,594   | 6,697   | 6,320        |
| 営業利益                | 15,147   | 19,508  | 17,643  | 15,919  | 13,142   | 16,475  | 6,462   | △4,100  | △577         |
| 経常利益                | 15,174   | 20,370  | 18,390  | 18,256  | 17,204   | 18,355  | 2,572   | △3,299  | 1,159        |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益 | 12,969   | 15,479  | 13,410  | 12,502  | 12,236   | 12,643  | 1,972   | △3,636  | 903          |
| 対米ドル期中平均レート         | 109.00円  | 110.10円 | 112.48円 | 114.66円 | 124.45円  | 135.33円 | 144.27円 | 132.75円 | 134.93円      |

## 連結業績推移(四半期)



## 受注高・受注残高推移(四半期)



当資料に記載されている、当社(太陽誘電株式会社、および当社グループ)に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

**TAIYO YUDEN**